

2018PWSC 報告書

会議名： 2018 WORLD SAILING ANNUAL CONFERENCE

Para World Sailing Committee Meeting

開催日時： 10月27日～11月4日

10月31日～11月4日(須藤参加日程)

場所： アメリカ合衆国フロリダ州サラソタ

宿泊： Hyatt Regency Sarasota

会議： 11月1日(木) 9:30-18:00 PWSC Meeting

11月2日(金) 9:30-15:00 Working Group「Ranking System」

11月3日(土) 9:30-15:00 日本障がい者委員会の質問

フライトスケジュール

行き 31/Oct 10:20 HND → 08:00 CHI NH112 31/Oct 18:00 CHI → 21:28 SRQ UA2049

帰り 05/Nov 12:55 SRQ → 14:49 CHI UA1641 05/Nov 16:15 CHI → 20:30 HND NH111 06/Nov

正式な会議全体の内容については後日メールにて議事録が送られて来ますので、手に入ったら送らせて頂きます。
ここでの報告書は特に感じた事や議事録にない事を中心に報告したいと思います。

日本障がい者セーリング委員会に対する回答には

書きましたが

二人乗りについては今後のワールドチャンピオンシップは 2.4mR、RS Venture、Hansa303 M、Hansa303 W の三艇種四種目になる。ただ、現在 RS Venture はスキッパーとクルーは横並びの椅子に座っているが、クルーが前で椅子なし、スキッパーが後で椅子ありに変わる可能性がある。

IPC レポートについて *別紙参照

2024年のパリパラリンピックにセーリングは復活できないとIPCの発表がありましたがその分析表が出ております。

いくつかの理由は Confidential になっているので非公開できないそうです。

復活するためにも非公開になっている部分を公開するべきではないかという意見があったが、、現在はそのままになっております。

復活できる可能性がすべてなくなったわけではないので、少しでも可能性があればトライしたいと委員長がおっしゃっていました。

二日目はランキング・システムのワーキンググループについて、メンバー、メガン、ブライアン、マシモ、須藤四人について検討を行った。完成までは至っていないので、今後引き続き、討論をして行く。

三日目については日本障がい者委員会の質問に対して、ベッツィ委員長に答えて頂くと思ったのだが委員長は忙して、どうしても時間が取れないという事で副委員長のデビットにお願いしたら快く引き受けてくれた。その内容については別紙「日本障がい者委員会への回答。」を参照して下さい。

今回会議の合間でアンディー、アレスター、マイケルの東京 2020 で会った方々と話をする事ができた。そして同じ委員会の中のメンバー共にいい交流ができた。

[反省点]

○到着したのは前日の夜遅くだったので、翌日の朝からの長い会議は大変だった。前日なら昼まで現地入りしたい。それができない場合は一日早めに着くようにした方が生産性高い。

○11月1日がメインの会議日だがその数日前にメールで前日に打合せがしたいというメールが入ったがもうチケットを買ってしまったので変更ができなかったため、10月31日は現地に着いた人だけ事前の打合せがありました。

○三日目に会議が終わったので、11月4日に帰国する事もできたが毎回会議のボリュームが違うので日程を組むのが難しい。

○インターネットでESTA申請する時に間違えて代行業者のサイトで申請してしまったため、手数料以外に代行手数料も支払う事になった。正式は\$14だけで済むはずだった。手数料と代行手数料込みで申請しておりますが私の間違いなので\$14じゃないとだめならそれで結構です。